

令和2年度

日向東白杵広域連合
歳入歳出決算審査意見書

日向東白杵広域連合監査委員

目 次

第1	審査の対象	1 頁
第2	審査の期間	1
第3	審査の方法	1
第4	審査の結果	1
第5	決算の概要	1
1	歳入	2
	第1款 分担金及び負担金	2
	第2款 使用料及び手数料	3
	第3款 国庫支出金	3
	第4款 県支出金	3
	第5款 財産収入	4
	第6款 寄附金	4
	第7款 繰入金	4
	第8款 繰越金	5
	第9款 諸収入	5
	第10款 組合債	5
2	歳出	6
	第1款 議会費	6
	第2款 総務費	7
	第3款 衛生費	7
	第4款 公債費	8
	第5款 予備費	8
第6	実質収支に関する調書	9
第7	財産に関する調書	9
1	公有財産	9
2	物 品	9
3	基 金	9
むすび		10
決算審査資料		11

凡 例

- 1 文中及び表中の円単位以外で表示した金額及び各比率は、表示単位未満で四捨五入している。また、合計と内訳を一致させるため調整を行っている。
- 2 「ポイント」は、前年度の%との比較である。
- 3 各表中の符号等の用法は、次のとおりである。
 - 「0.0」 該当数値はあるが、単位未満のもの
 - 「△」 マイナス
 - 「－」 該当数値のないもの
 - 「皆増」 前年度に該当数値がなく、全額増加したもの
 - 「皆減」 当年度に該当数値がなく、全額減少したもの

発日東広監 第23号

令和3年10月29日

日向東臼杵広域連合

広域連合長 十屋 幸平 様

日向東臼杵広域連合

監査委員 成 合 学

監査委員 那 須 富 重

令和2年度日向東臼杵広域連合歳入歳出決算審査意見について

地方自治法第292条の規定により準用する同法第233条第2項の規定に基づき、審査に付された令和2年度歳入歳出決算書、決算附属書類及び証書類を審査したので、その結果について次のとおり意見を提出します。

令和2年度 日向東臼杵広域連合歳入歳出決算審査意見

第1 審査の対象

令和2年度日向東臼杵広域連合歳入歳出決算

第2 審査の期間

令和3年9月1日から10月15日まで

第3 審査の方法

- 1 審査に当たっては、審査に付された歳入歳出決算書及び附属書類が地方自治法等の関係法令の規定に基づいて作成されているか、計数は正確で適正に処理されているかについて確認するとともに、予算は法令等に基づいて適切に執行されているかなど、予算の執行状況とその事務処理の適否等について審査した。
- 2 審査は、関係諸帳簿と証拠書類等との照合のほか、関係職員から説明を聴取するなどして実施し、主な建設工事等については実地に現場を確認するなどして実施した。

第4 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算書及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数においても正確で、令和2年度における歳入歳出予算の執行状況は、おおむね適正であると認められた。

第5 決算の概要

当年度の決算額は、

歳	入	611,653,458 円
歳	出	596,127,267 円
歳入歳出差引残額		15,526,191 円
翌年度へ繰り越すべき財源		0 円
実質収支額		15,526,191 円

であり、前年度に比べ歳入は 7,789,928円 (1.3%)、歳出は 5,581,903円 (0.9%) それぞれ増加している。

1 歳入

歳入の決算額は、

予 算 現 額	609,000,000 円
調 定 額	611,653,458 円
収 入 済 額	611,653,458 円
収 入 未 済 額	0 円

となっている。

収入済額の予算現額に対する比率は 100.4%で、調定額に対する比率は 100.0%である。

収入済額を款別にみると、次のとおりである。

表 1 (単位：円・%)

款 別	令和 2 年 度		令和 元 年 度		比 較 増 減	
	金 額 (A)	構成比	金 額 (B)	構成比	金額(A)-(B)	増減率
分担金及び負担金	565,949,069	92.5	575,506,516	95.3	△ 9,557,447	△ 1.7
使用料及び手数料	30,898,500	5.0	27,996,600	4.6	2,901,900	10.4
国庫支出金	0	—	0	—	0	—
県支出金	0	—	0	—	0	—
財産収入	88,596	0.0	94,364	0.0	△ 5,768	△ 6.1
寄附金	0	—	0	—	0	—
繰入金	14,393,500	2.4	0	—	14,393,500	皆増
繰越金	0	—	0	—	0	—
諸収入	323,793	0.1	266,050	0.1	57,743	21.7
組合債	0	—	0	—	0	—
合 計	611,653,458	100.0	603,863,530	100.0	7,789,928	1.3

第 1 款 分担金及び負担金

予 算 現 額	566,335,000 円
調 定 額	565,949,069 円
収 入 済 額	565,949,069 円

収入済額の予算現額に対する比率は 99.9%で、調定額に対する比率は 100.0%である。

収入済額を項別にみると、次のとおりである。

表 2 (単位：円・%)

項 別	令和 2 年 度 金 額 (A)	令和 元 年 度 金 額 (B)	比 較 増 減	
			増減額(A-B)	増 減 率
分 担 金	511,311,000	520,846,000	△ 9,535,000	△ 1.8
負 担 金	54,638,069	54,660,516	△ 22,447	0.0
合 計	565,949,069	575,506,516	△ 9,557,447	△ 1.7

1 分担金

前年度に比べ 9,535,000円 (1.8%) 減少している。これは主に、清掃分担金 (ごみ処理施設) 3,062,000円の増加はあるものの、保健衛生分担金 (斎場施設) 7,393,000円 及び清掃分担金 (最終処分場) 5,402,000円の減少によるものである。

2 負担金

前年度に比べ 22,447円 (0.0%) 減少している。これは、下水道汚泥処理負担金の減少によるものである。

第2款 使用料及び手数料

予 算 現 額	28,001,000 円
調 定 額	30,898,500 円
収 入 済 額	30,898,500 円

収入済額の予算現額に対する比率は 110.3%で、調定額に対する比率は 100.0%である。

収入済額を項別にみると、次のとおりである。

表 3

(単位：円・%)

項 別	令和2年度 金額 (A)	令和元年度 金額 (B)	比較増減	
			増減額(A-B)	増減率
使 用 料	30,898,500	27,996,600	2,901,900	10.4
手 数 料	0	0	0	—
合 計	30,898,500	27,996,600	2,901,900	10.4

1 使用料

前年度に比べ 2,901,900円 (10.4%) 増加している。これは、保健衛生使用料 (斎場使用料) の増加によるものである。

2 手数料

手数料収入はない。

第3款 国庫支出金

予 算 現 額	1,000 円
調 定 額	0 円
収 入 済 額	0 円

当年度も、前年度と同様に国庫支出金の収入はない。

第4款 県支出金

予 算 現 額	1,000 円
調 定 額	0 円
収 入 済 額	0 円

当年度も、前年度と同様に県支出金の収入はない。

第5款 財産収入

予 算 現 額	68,000 円
調 定 額	88,596 円
収 入 済 額	88,596 円

収入済額の予算現額に対する比率は 130.3%、調定額に対する比率は 100.0%である。

収入済額を項別にみると、次のとおりである。

表 4 (単位：円・%)

項 別	令和2年度 金額 (A)	令和元年度 金額 (B)	比較増減	
			増減額(A-B)	増減率
財産運用収入	88,596	94,364	△ 5,768	△ 6.1
財産売払収入	0	0	0	—
合 計	88,596	94,364	△ 5,768	△ 6.1

1 財産運用収入

前年度に比べ 5,768円 (6.1%) 減少している。これは、利子及び配当金 5,768円の減少によるものである。

2 財産売払収入

財産売払収入はない。

第6款 寄附金

予 算 現 額	1,000 円
調 定 額	0 円
収 入 済 額	0 円

当年度も、前年度と同様に寄附金の収入はない。

第7款 繰入金

予 算 現 額	14,501,000 円
調 定 額	14,393,500 円
収 入 済 額	14,393,500 円

収入済額の予算現額に対する比率は 99.3%、調定額に対する比率は 100.0%である。

収入済額を項別にみると、次のとおりである。

表 5 (単位：円・%)

項 別	令和2年度 金額 (A)	令和元年度 金額 (B)	比較増減	
			増減額(A-B)	増減率
基金繰入金	14,393,500	0	14,393,500	皆増

1 基金繰入金

前年度に比べ 14,393,500円 (皆増) 増加している。これは、火葬場施設整備基金繰入金の増加によるものである。

第8款 繰越金

予 算 現 額	1,000 円
調 定 額	0 円
収 入 済 額	0 円

当年度も、前年度と同様に繰越金の収入はない。

第9款 諸収入

予 算 現 額	90,000 円
調 定 額	323,793 円
収 入 済 額	323,793 円

収入済額の予算現額に対する比率は 359.8%、調定額に対する比率は 100.0%である。

収入済額を項別にみると、次のとおりである。

表 6

(単位：円・%)

項 別	令 和 2 年 度 金 額 (A)	令 和 元 年 度 金 額 (B)	比 較 増 減	
			増減額(A-B)	増 減 率
預 金 利 子	50	49	1	2.0
雑 入	323,743	266,001	57,742	21.7
合 計	323,793	266,050	57,743	21.7

1 預金利子

前年度に比べ 1円 (2.0%) 増加している。これは、利子及び配当金の増加によるものである。

2 雑入

前年度に比べ 57,742円 (21.7%) 増加している。これは主に、自動販売機電気料 3,041円の減少はあるものの、鉄骨廃材処分費 42,300円、自動販売機設置手数料 9,616円及び現場事務所使用光熱水費 8,538円の増加によるものである。

第10款 組合債

予 算 現 額	1,000 円
調 定 額	0 円
収 入 済 額	0 円

当年度も、前年度と同様に組合債の収入はない。

2 歳出

歳出の決算額は、

予 算 現 額	609,000,000 円
支 出 済 額	596,127,267 円
翌年度繰越額	0 円
不 用 額	12,872,733 円

となっている。

予算執行率は 97.9%（前年度 97.6%）である。

支出済額を款別にみると、次のとおりである。

表 7

(単位：円・%)

款 別	令和 2 年 度		令和 元 年 度		比 較 増 減	
	金 額 (A)	構成比	金 額 (B)	構成比	金額(A)-(B)	率
議 会 費	836,109	0.1	656,074	0.1	180,035	27.4
総 務 費	33,653,353	5.7	33,767,713	5.7	△ 114,360	△ 0.3
衛 生 費	478,613,493	80.3	439,018,352	74.4	39,595,141	9.0
公 債 費	83,024,312	13.9	117,103,225	19.8	△ 34,078,913	△ 29.1
予 備 費	0	—	0	—	0	—
合 計	596,127,267	100.0	590,545,364	100.0	5,581,903	0.9

第 1 款 議会費

予 算 現 額	1,102,000 円
支 出 済 額	836,109 円
不 用 額	265,891 円

予算執行率は、75.9%で、（前年度 59.5%）である。

支出済額を項別にみると、次のとおりである。

表 8

(単位：円・%)

項 別	令和 2 年 度 金 額 (A)	令和 元 年 度 金 額 (B)	比 較 増 減	
			増減額(A-B)	増 減 率
議 会 費	836,109	656,074	180,035	27.4

前年度に比べ 180,035円（27.4%）増加している。これは主に、報酬 115,200円及び旅費 45,120円の増加によるものである。

不用額 265,891円は、執行残によるものである。

第2款 総務費

予 算 現 額	36,079,000 円
支 出 済 額	33,653,353 円
不 用 額	2,425,647 円

予算執行率は、93.3%で、(前年度 94.1%)である。

支出済額を項別にみると、次のとおりである。

表 9

(単位：円・%)

項 別	令和2年度 金 額 (A)	令和元年度 金 額 (B)	比 較 増 減	
			増減額(A-B)	増 減 率
総 務 管 理 費	33,489,677	33,609,538	△ 119,861	△ 0.4
選 挙 費	108,912	104,103	4,809	4.6
監 査 委 員 費	54,764	54,072	692	1.3
合 計	33,653,353	33,767,713	△ 114,360	△ 0.3

1 総務管理費

前年度に比べ 119,861円 (0.4%) 減少している。これは主に、給料 91,449円、委託料 325,810円、需用費 72,413円、使用料及び賃借料 117,670円及び負担金、補助及び交付金 126,495円の増加はあるものの、職員手当等 848,012円の減少によるものである。

2 選挙費

前年度に比べ 4,809円 (4.6%) 増加している。

3 監査委員費

前年度に比べ 692円 (1.3%) 増加している。

不用額 2,425,647円は、主に総務管理費 2,363,323円で、執行残によるものである。

第3款 衛生費

予 算 現 額	487,733,000 円
支 出 済 額	478,613,493 円
不 用 額	9,119,507 円

予算執行率は、98.1%で、(前年度 97.7%)である。

支出済額を項別にみると、次のとおりである。

表 10

(単位：円・%)

項 別	令和2年度 金 額 (A)	令和元年度 金 額 (B)	比 較 増 減	
			増減額(A-B)	増 減 率
保 健 衛 生 費	112,497,932	73,367,201	39,130,731	53.3
清 掃 費	366,115,561	365,651,151	464,410	0.1
合 計	478,613,493	439,018,352	39,595,141	9.0

1 保健衛生費

前年度に比べ 39,130,731円 (53.3%) 増加している。これは主に、需用費 371,596円及び負担金、補助及び交付金 776,871円の減少はあるものの、工事請負費 25,197,200円及び積立金 15,000,000円の増加によるものである。

2 清掃費

前年度に比べ 464,410円 (0.1%) 増加している。これは主に、委託料 1,097,537円、給料 369,468円及び職員手当等 683,660円の減少はあるものの、原材料費 1,002,985円及び負担金、補助及び交付金 1,587,458円の増加によるものである。

不用額 9,119,507円は、保健衛生費 2,464,068円及び清掃費 6,655,439円であり、いずれも執行残によるものである。

第4款 公債費

予 算 現 額	83,086,000 円
支 出 済 額	83,024,312 円
不 用 額	61,688 円

予算執行率は、99.9%で、(前年度 99.6%) である。

支出済額を項別にみると、次のとおりである。

表 11

(単位：円・%)

項 別	令和2年度 金 額 (A)	令和元年度 金 額 (B)	比 較 増 減	
			増減額(A-B)	増 減 率
公 債 費	83,024,312	117,103,225	△ 34,078,913	△ 29.1

前年度に比べ 34,078,913円 (29.1%) 減少している。これは、今年度中における斎場施設に係る償還金のうち、元金 33,736,000円及び利子 342,913円の減少によるものである。

当年度における借入金(元金)の状況は、次のとおりである。

表 12

(単位：千円)

区 分	令和元年度 末 現 在 高	令和2年度 発 行 高	令和2年度 償 還 額	差引現在高
ごみ処理施設	267,848	0	77,669	190,179
斎場施設	4,440	0	4,440	0
合 計	272,288	0	82,109	190,179

第5款 予備費

予 算 額	1,000,000 円
充 用 額	0 円
予 算 現 額	1,000,000 円
不 用 額	1,000,000 円

当年度も、前年度と同様に予備費の充用はない。

第6 実質収支に関する調書

実質収支に関する調書の計数は、正確であると認められ、その額は 15,526千円で前年度(13,319千円)に比べ 2,207千円(16.6%)増加している。

第7 財産に関する調書

1 公有財産

公有財産の当年度末現在高は、土地 27,438㎡、建物 6,101㎡で前年度と変動はない。

2 物 品

物品の当年度末の現在高は、貨物自動車 2台であり、前年度と変動はない。

3 基 金

基金の状況は、次のとおりである。

表 13

(単位：千円)

区 分	前年度末現在高	当年度中増減高	当年度末現在高
財政調整基金	32,480	3,585	36,065
一般廃棄物最終処分場施設整備基金	18,469	3,451	21,920
火葬場施設整備基金	56,510	21,071	77,581
ごみ処理施設整備基金	320,102	6,818	326,920
合 計	427,561	34,925	462,486

む す び

当年度の決算額は、歳入総額 6億 1,166万円、歳出総額 5億 9,613万円で、前年度に比べ歳入で 780万円（1.3%）、歳出では 558万円（0.9%）それぞれ増加している。

その結果、実質収支額は 1,553万円となっている。

各施設の管理運営状況をみると、まず、東郷霊苑については、当年度の使用状況が 1,315件で前年度より 113件（9.4%）増加している。その内訳は、火葬件数が 129件の増加で、待合室等の使用件数が 16件の減少となっている。

また、施設の維持管理については、「第2次日向地区斎場東郷霊苑管理運営中期計画（計画期間：平成28年度～令和2年度）」に基づいて、火葬炉各制御盤更新工事や火葬炉耐火台車取替工事などが実施されている。

引き続き、新たに策定された「第3次日向地区斎場東郷霊苑管理運営中期計画（令和3年度～令和7年度）」に基づき、安全かつ安定した東郷霊苑施設の管理運営に努められたい。

次に、清掃センターについては、ごみの焼却量が 23,189トンとなっており、前年度より 370トン（1.6%）減少している。一方、一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（改定計画：令和2年度～令和6年度）においては1人1日当たりのごみ排出量を、令和6年度に 856g／人・日まで削減することが排出抑制目標となっているなか、令和2年度の実績では 932g／人・日となっており、ごみの排出抑制につながる一層の施策推進が求められる。

施設の設備機器類については、長寿命化計画書（長期施設整備計画）に基づき、1号炉ガス冷却室更新工事や1号炉水冷ストーカホース取替工事等が実施され、運営管理が適切かつ効率的に行われている。

また、焼却処理により発生する排ガス等については、各汚染物質の分析検査結果が基準値内の適正な数値を保持しており、周辺環境の保全に沿った管理運営がなされている。

次に、次期最終処分場の整備については、建設予定候補地の土地所有者と事前協議を実施したものの、合意形成に至らず計画が断念されている。

今後は、用地選定検討委員会等において候補地の段階的絞り込みが行われ、「広域連合による最終処分場の新設」への道が具体化される所であり、これにあたっては、日向東臼杵広域連合最終処分場施設整備方針に基づき、事業の推進が一步一步着実に進められるよう努められたい。

以上のとおり、各施設の管理運営については、おおむね適正に執行され、効率的な共同処理が行われている。

そうした中、清掃センターの施設及び機器類については、今後、再度の長寿命化計画を策定した後、基幹的設備改良工事を実施することにより延命化を図るなど、多額の財政負担を伴う事業も想定されるため、これに係る財源確保を図ることが求められる。

今後とも、第5次日向東臼杵広域連合広域計画や施設の長寿命化計画（長期施設整備計画）等に基づき、安全で安定した施設の管理・運営と中長期視点に支えられた経営に努められることを望むものである。

資料1 人口の推移

区 分	令和3年3月末日現在		令和2年3月末日現在		平成31年3月末日現在	
	人口 (人)	前年比 (%)	人口 (人)	前年比 (%)	人口 (人)	前年比 (%)
日 向 市	59,115	△ 0.9	59,632	△ 0.7	60,044	△ 0.1
門 川 町	17,285	△ 0.8	17,433	△ 0.5	17,524	△ 1.1
美 郷 町	4,739	0.7	4,704	△ 4.2	4,909	△ 3.3
諸 塚 村	1,431	△ 2.4	1,466	△ 3.6	1,520	△ 4.3
椎 葉 村	2,427	△ 3.1	2,504	△ 2.2	2,560	△ 1.8
合 計	84,997	△ 0.9	85,739	△ 0.9	86,557	△ 1.2

資料2 ごみ焼却量の推移

区 分	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	量 (t)	前年比 (%)	量 (t)	前年比 (%)	量 (t)	前年比 (%)
日 向 市	16,592	△ 1.8	16,890	0.5	16,807	5.4
門 川 町	5,139	△ 1.3	5,206	0.1	5,201	0.5
美 郷 町	881	△ 1.9	898	6.4	844	4.6
諸 塚 村	194	1.6	191	3.2	185	△ 1.1
椎 葉 村	383	2.4	374	1.4	369	4.2
合 計	23,189	△ 1.6	23,559	0.7	23,406	4.2

資料3 日向地区斎場東郷霊苑使用件数の推移

区 分	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	件	前年比 (%)	件	前年比 (%)	件	前年比 (%)
日 向 市	827 (17)	8.7	761 (22)	1.7	748 (42)	△ 7.9
門 川 町	265 (2)	23.8	214 (1)	△ 15.4	253 (5)	△ 2.7
美 郷 町	135 (2)	8.9	124 (8)	△ 13.9	144 (10)	△ 10.0
諸 塚 村	23 (0)	△ 30.3	33 (2)	△ 8.3	36 (0)	2.9
椎 葉 村	36 (0)	△ 7.7	39 (2)	25.8	31 (0)	△ 13.9
そ の 他	29 (0)	△ 6.5	31 (2)	10.7	28 (0)	△ 3.4
合 計	1,315 (21)	9.4	1,202 (37)	△ 3.1	1,240 (57)	△ 6.9

※ 使用件数のうち待合室及び安置室の使用件数は、括弧書きで再掲している。

資料4 焼却量等の推移

区 分	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	量	前年比 (%)	量	前年比 (%)	量	前年比 (%)
ごみ焼却量 t	23,189	△ 1.6	23,559	0.7	23,406	4.2
電力用量 kwh	1,753,855	1.2	1,733,224	△ 0.2	1,737,223	2.9
A重油使用料 kℓ	16.0	6.7	15.0	50.0	10.0	△ 33.3
灰搬出量 t	2,534	4.7	2,421	△ 0.6	2,436	6.3

資料5 ダイオキシン類等測定分析結果の推移（清掃センター）

測定項目	単位	基準値	令和2年度		令和元年度		平成30年度		
			1号炉	2号炉	1号炉	2号炉	1号炉	2号炉	
ダイオキシン類	排ガス	ng-TEQ/m ³ N	5	0.031	0.055	0.036	0.046	0.026	0.070
	飛灰	ng-TEQ/g	3	0.300	0.180	0.170	0.110	0.200	0.170
	焼却灰	ng-TEQ/g	3	0.00018	0.00130	0.00057	0.00037	0.00023	0.00049
一酸化炭素	ppm	100	3	2	2	2	2	2	
ばいじん	g/m ³ N	0.15	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.004未満	0.005未満	
塩化水素	mg/m ³ N	700	280	73	190	49	120	150	
硫黄酸化物	m ³ N/h	50~60	1.50	0.65	1.00	0.81	0.72	0.69	

※ ダイオキシン類の数値は毒性等量

資料6 ダイオキシン類等測定分析結果の推移（日向地区斎場東郷霊苑）

測定項目	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度
ダイオキシン類(排ガス)	ng-TEQ/m ³ N	7.70	3.60	0.58
一酸化炭素	ppm	22.00	21.00	7.00
ばいじん	g/m ³ N	0.005未満	0.005未満	0.005未満
塩化水素	mg/m ³ N	5.00未満	5.00未満	5.00未満
硫黄酸化物	m ³ N/h	0.015未満	0.019	0.072

※ ダイオキシン類の数値は毒性等量

資料7 事業別分担金の内訳

(単位:千円・%)

区分	一般管理 分担金	斎場施設 運営管理費	斎場施設 建設費	最終処分場 建設費	ごみ処理施設 運営管理費	ごみ処理施設 建設費	合計	構成比
日向市	18,697	12,158	32,567	—	173,097	55,073	291,592	57.0
門川町	8,442	4,798	11,044	6,314	64,525	19,647	114,770	22.5
美郷町	4,217	3,077	4,606	2,133	22,730	6,391	43,154	8.4
諸塚村	3,282	1,458	2,938	1,049	16,537	4,279	29,543	5.8
椎葉村	3,431	1,422	2,883	1,394	18,246	4,876	32,252	6.3
合計	38,069	22,913	54,038	10,890	295,135	90,266	511,311	100.0

資料8 事業別分担金の繰越額内訳

(単位:円・%)

区分	一般管理 分担金	斎場施設 運営管理費	斎場施設 建設費	最終処分場 建設費	ごみ処理施設 運営管理費	ごみ処理施設 建設費	合計	構成比
日向市	1,753,391	2,735,402	99,710	—	2,679,680	18,135	7,286,318	46.9
門川町	862,724	1,079,771	34,774	1,095,050	999,289	6,849	4,078,457	26.3
美郷町	432,004	692,987	14,540	370,630	352,747	3,275	1,866,183	12.0
諸塚村	323,536	328,309	9,208	182,135	256,513	1,860	1,101,561	7.1
椎葉村	337,164	320,272	9,782	242,239	282,453	1,762	1,193,672	7.7
合計	3,708,819	5,156,741	168,014	1,890,054	4,570,682	31,881	15,526,191	100.0

